

キリストを宿す

シリーズ～コロサイの信徒への手紙～

2014/8/17

コロサイの信徒への手紙 3章15-16節

また、キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい。この平和にあずからせるために、あなたがたは招かれて一つの体とされたのです。いつも感謝していなさい。

キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、諭し合い、詩編と賛歌と霊的な歌により、感謝して心から神をほめたたえなさい。

キリストの言葉を豊かに宿す

- 「キリストの言葉」とはイエス様が語られた文言のことではない
 - パウロはキリストの言葉を実際に聞いてないし、記してもいない
 - 「ロゴス」とは言葉だけではなく、知恵や思想、人格なども表現する(例:ヨハネ福音書 1 章)
- 「豊かに宿るようにしなさい」とは
 - まるでそこにおられるかのように感じられる
 - 「あなたがたのうち」とは、「一人一人の中」と同時に、「教会全体の中」という意味

どうやってキリストを宿すか①

「知恵を尽くして互いに教え、諭し合」う

- **互いに教え合う**
 - 一人で学ぶだけではなく、一緒に学ぶ、互いに教え合うことが大切である
 - 「互いに」行うために教会がある
- **互いに諭し合う**
 - 間違いや弱さは自分では気付かない！
- **「知恵を尽く」さなければならない**
 - あらゆる知恵を総動員して行うこと

どうやってキリストを宿すか②

「詩編と賛歌と霊的な歌により、感謝して心から神をほめたたえなさい。」

- 賛美によって神をほめたたえることで、キリストが宿られる
 - 「あなたは聖であられ、イスラエルの賛美を住まいとしておられます。」＜詩篇22:3新改訳＞
- 教会は最初から賛美の集まりだった
 - 「神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。」使徒2:47
 - 賛美は、初代教会がユダヤ教会(シナゴグ)から受け継いだ

賛美の種類

- 「詩編と賛歌と霊的な歌」とは？
 - 「詩篇」:旧約聖書の詩篇をはじめとする歌
 - 「賛歌」:英語の「hymn」の語源。教会で生まれた賛美。例:フィリピ2:6～
 - 「霊的な歌」:より自由で即興的な賛美
- 賛美の歴史
 - グレゴリオ聖歌:8世紀頃誕生し,今でもカトリック教会(修道院)で歌い継がれる
 - ルター:16世紀。『神学の次に音楽が大事』
 - バッハ:17-18世紀。「西洋音楽(賛美)の父」
 - 賛美歌:19世紀以降,英・米で編纂される
 - **逆輸入**:教会外で発達した音楽で賛美が作られる

音楽の不思議

- **言葉が音楽に乗ると全く別の力を持つ**
 - 感情に訴える
 - メッセージを心に響かせる
- **曲調,リズム,和音などによっても異なる**
 - 音の持つ特別な力
 - 場面を作る,集団を一つにする,思い出す,他
 - 慣れ親しんだ音楽,個々人の好き嫌いがある
- **神は音楽を創造し人間にお与え下さった**
 - 人間は自然に歌う生き物である!

賛美と共に

- 聖書の中心は賛美

- 主に最も愛された王、ダビデは賛美の人だった
- 「いかに楽しいことでしょう／主に感謝をささげることは／いと高き神よ、御名をほめ歌い／朝ごとに、あなたの慈しみを／夜ごとに、あなたのまことを述べ伝えることは」＜詩篇92:2-3＞

- 儀式における賛美（過越祭の祭り）

- 「一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱えて、それを裂き、弟子たちに与えながら言われた。…一同は賛美の歌をうたってから、オリーブ山へ出かけた。」＜マタイ26:26,30＞

- 賛美の力

- 「パウロとシラスは獄中で賛美していた：真夜中ごろ、パウロとシラスが賛美の歌をうたって神に祈っていると、ほかの囚人たちはこれに聞き入っていた。」＜使徒16:25＞

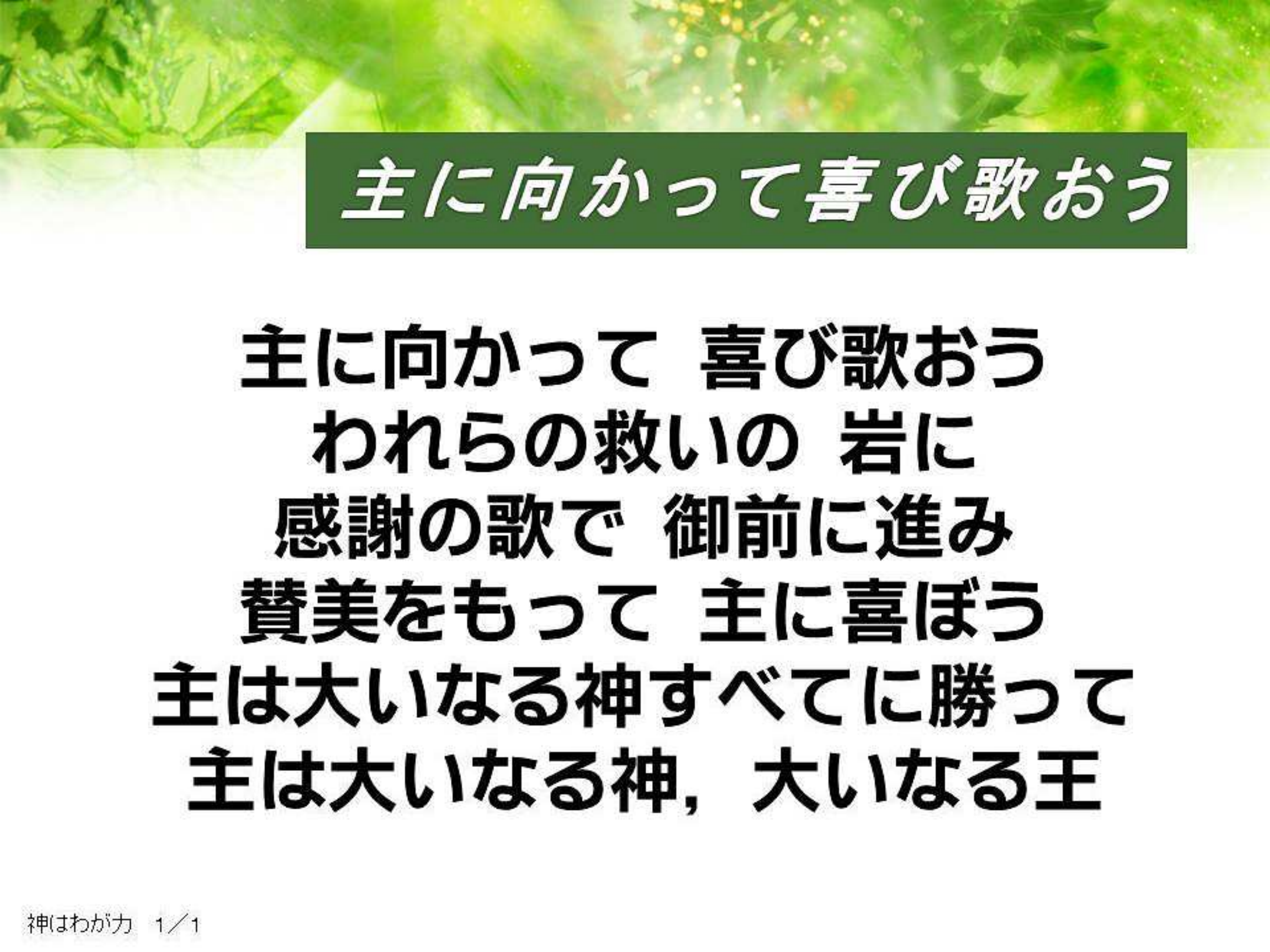
- 賛美は神へのささげ物

- 「イエスを通して賛美のいけにえ、すなわち御名をたたえる唇の実を、絶えず神に献げましょう。」＜ヘブライ13:15＞

キリストを宿す

- 賛美でキリストをもてなす
 - 私たちの心は、住んで頂ける価値のない、むしろ罪深く「ゴミ屋敷」状態なのに、宿って下さる
 - せめて居心地によい場所に

キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、諭し合い、詩編と賛歌と霊的な歌により、感謝して心から神をほめたたえなさい。



主に向かって喜び歌おう

**主に向かって 喜び歌おう
われらの救いの 岩に
感謝の歌で 御前に進み
賛美をもって 主に喜ぼう
主は大いなる神すべてに勝って
主は大いなる神，大いなる王**